



特集 都市交通とまちづくり

基調講演 「都市交通とまちづくりー

人と環境にやさしいまちづくり」

(要旨) 茨城大学工学部 山形 耕一教授

近代都市の形成に自動車は大きな役割を果たしたが、反面、都市の拡散、自然環境問題、居住環境への侵害、交通渋滞等の問題を引き起こし、車に過度に依存してしまう、いわば、人間と車が主客転倒している社会を作り出してしまった。

「都市」は基本的に人が育つ場所、人が集まり交流して自己実現を果たす場であり、そのなかで障害を含めすべての人が自立的にかつ共生していける都市づくりが大切なテーマである。

その観点から「都市交通」を考えると車主体から脱却し、公共交通機関を活用することや、様々な交通需要マネジメント(*TDM)の手法を使って、総合的な都市交通体系を構築することが重要である。

(*TDM...電車・バスなどの公共交通機関の活用や市街地への車両流入制限といった交通需要そのものをコントロールする手法の体系。本講演では、パーク&バスライド<都市の外縁部において、1人乗り車から、バス等の大量公共輸送機関へ乗りかえる手法>、ロードプライシング<道路通行料金に格差制度を導入し、市内に入る車から料金を徴することによって交通量の削減を図り渋滞解消等を図る手法>等が紹介された。)



今年度の茨城県うるおいのあるまちづくり顕彰事業の表彰も行われました。

【まちづくりグリーンリボン賞】

- 古河市(古河市立第三保育所建設)
- NPO法人まちづくり市民会議(まちづくり市民会議の活動)
- 下妻地方広域事務組合(フィットネスパーク・きぬ整備事業)
- 取手市(取手駅東口土地区画整理事業)
- (株)横須賀満夫建築設計事務所・金砂郷町
- (西金砂郷湯けむりの郷グレードアップ事業)

【まちづくりグッドサイン賞】

- 金砂郷町(そば街道石彫刻道標)

さる10月20日、日立市多賀市民会館で「まちづくりシンポジウム2001」を開催しました。
(主催 茨城県・日立市・茨城県都市計画協会)

パネルディスカッション

コーディネーター 山形 耕一教授

パネリスト

土屋 静治 氏(㈱日立製作所日立事業所総務部長)

横田 寿子 氏(中小路を住みよくする会会長)

松本 俊一 氏(日立電鉄㈱取締役経営企画室長)

富樫 美奈子 氏(茨城キリスト教大学生活科学部助手)

櫻村 千秋 氏(日立市長)

企業、住民、研究者、行政とそれぞれの立場から、市内の交通渋滞問題や路線バスの活用、バリアフリー、中心市街地活性化等、人と環境にやさしいまちづくりについて活発な意見が交わされました。

ー県内市町村担当者、市民など約200名にご参加いただきましたー

～お知らせ～

茨城県と日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、十王町及び東海村(「県北臨海都市圏」という。)は、共同で、県北臨海都市圏における将来の総合的な交通計画を策定するため、10月から11月にかけて交通実態調査(パーソントリップ調査)を行っております。

本調査は、ご家庭の皆さんが一日の内に「どんな目的」で、「どんな交通手段」で、「どこからどこまで」移動したかなどを調査するもので、交通計画を策定するための基礎資料とするものです

皆様のご理解とご協力をお願いします。

目次: CONTENTS

特集 都市交通とまちづくり	1
ーまちづくりシンポジウム2001から	
<市町村探訪> うわさのこのまちー古河市	2
まちづくり団体の取り組み～こんなことやってます～	3
水戸女性フォーラム	
お知らせコーナー	4
ーいばらきまちづくり講座研究報告会等のお知らせ	